

# NEWS RELEASE

No. 17-09

2017年10月6日

(公財)損害保険事業総合研究所

## 損害保険研究費助成 新規受給者決定

損保総研では、本年度の損害保険研究費助成に対する応募を9月4日に締め切り、10月4日に受給者の選考委員会を開催しました。

損害保険研究費助成制度は、損害保険・リスクマネジメントおよび関連分野における研究を支援するとともに、損害保険事業の健全な発展に資することを目的とし、主として若手および中堅の研究者に対して、研究費の一部（上限50万円）を助成するものです。

今回は、審議の結果、下記の10名を本年度の受給者として決定しました。助成期間は11月より1年間です。

なお、本年度より、共同研究も受給の対象といたしました。

1993年度の本制度創設以降、25年間の受給者は累計で延べ96名となりました。これまで助成を受けた研究者は、全国各地の大学、大学院において教授、准教授等として現在も活躍されています。

今年度の新規受給者（『 』内は研究テーマ）

### <一般募集の部>

しらい まさかず  
白井 正和 氏（同志社大学法学部教授）

『 傷害保険における外来性要件に関する検討 』

かむら ゆうじ  
嘉村 雄司 氏（島根大学法文学部准教授）

『 自然災害に関するアメリカ保険制度の状況・課題・展望 』

### <特別募集の部>

おおつか ひであき  
大塚 英明 氏（早稲田大学法学学術院教授）

『 医療用人工物の影響と傷害保険の保険事故 』

よしざわ たくや  
吉澤 卓哉 氏（京都産業大学法学部教授）

『 保険監督、保険契約、保険消費者保護に関する法のあり方（保険先取特権の準拠法） 』

こえづか ただお  
肥塚 肇雄 氏 (香川大学法学部教授)

『自動運転車走行の社会的受容の促進とサイバーリスク保険の法的研究』

ちやの つとむ  
茶野 努 氏 (武蔵大学経済学部教授)

『損害保険会社におけるシステムック・リスクの実証分析』

ささき いちろう  
佐々木 一郎 氏 (同志社大学商学部准教授)

『AI・自動運転が保険ビジネス、保険教育に及ぼす影響の分析』

(共同研究)

ごとう げん  
後藤 元 氏 (代表者) (東京大学大学院法学政治学研究科准教授)

こづか そういちろう  
小塚 荘一郎 氏 (学習院大学法学部教授)

ふじさわ なおえ  
藤澤 尚江 氏 (筑波大学大学院ビジネス科学研究科准教授)

『AIによる交通システムの革新と法的課題』

以上

この資料は、保険関係業界紙各社へ同時に配布しております。

**本件に関するお問い合わせ先**

〒101-8335 千代田区神田淡路町2-9

公益財団法人 損害保険事業総合研究所

学術振興担当 松下 泰 (TEL: 03-3255-5511)